
「障がい者週間」の認知度、95%の大学生と小学生が知らない

現在の大学生の6割が福祉授業を経験。9割が必要性感じている。
これからの福祉授業とは？

みんなでつくるUDトイレマップ「Check A Toilet」

大学生・小学生を対象とした『障がい者・福祉授業に関する意識調査』を発表！

みんなでつくるユニバーサルデザイントイレマップ「Check A Toilet(www.checktoilet.com/)」
を運営する特定非営利活動法人 Check（代表理事 金子健二、以下 NPO 法人 Check）の
学生団体『Check Students』は、12月3日～12月9日の「障がい者週間」を前に、
大学生と小学生を対象とした、障がい者・福祉授業に関する意識調査を発表。

■概要

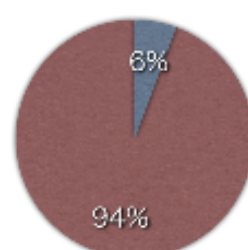
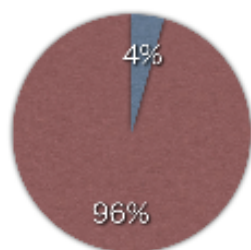
現在、日本の人口の約5%にあたる650万人が障害者手帳を保有する方々で、そのうちの
約半分が足の不自由な方です。Check Students は、世間の皆さんが障がいを持つ方々について
どの程度の理解をしているか、またそれに伴う学習意欲を調査するためのアンケートの首都圏の
大学生・小学生を対象に実施しました。その結果、以下のことが分かりました。

問.1 毎年、12/3～12/9は国が定めた「障がい者週間」
であることを知っていますか？

【大学生】

【小学生】

● 知っている ● 知らない

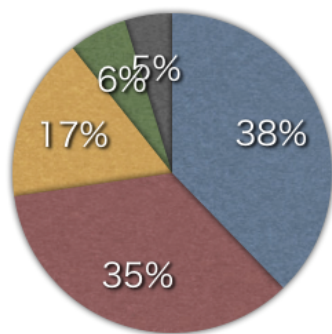


問2、問1で「はい」と答えた方へ「障がい者週間」は何を通じて知りましたか？【大学生】

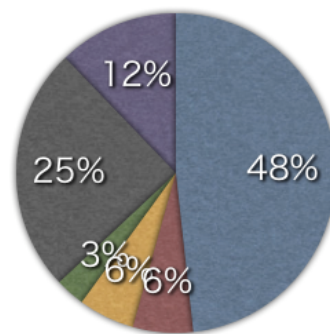
友人または家族	2.1%	新聞・ポスター	1.0%	インターネット	0.8%
TV・ラジオ	0.3%	その他	0.3%		

問.3 今までに足の不自由な方（障がいを持っている方）と
交流する機会がありましたか？ある方はどんな機会でしたか？

【大学生】



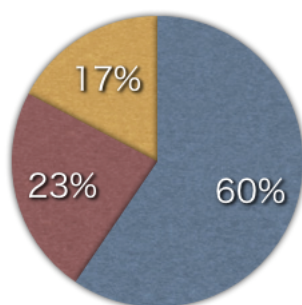
【小学生】



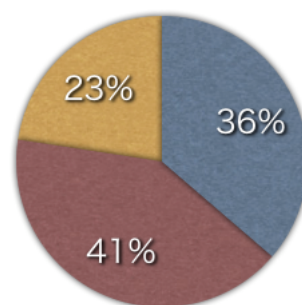
- 特になし
- 福祉施設訪問
- 街中でお手伝いをしたとき
- 学校の授業で交流
- 地域ボランティア
- 家族・友人にいます

問.4 足の不自由な方（障がい者の方たち）は
外出時に一番どのようなことに困ると思いますか？

【大学生】



【小学生】



- 歩行時の段差や坂の勾配など
- 使用できるトイレがあるか
- エレベーターの有無

問5、今までに足の不自由な方（障がい者を持っている方）について学校等の教育機関で
授業を受けたことがありますか？【大学生】

「はい」 が 64.4%

「いいえ」 が 35.6%

問6、問5で「はい」と答えた方へ、具体的にどのような授業でしたか？【大学生】

車いす体験 37.4% 、障がい者の方からのお話 12.5%

街のバリアフリー調査（トイレマップ制作） 9.0% 、その他 6.2% 、無回答 34.9%

問7、足の不自由な人（特別支援を必要とする人）がみんなと楽しく生活できるような社会になるために、みんなはどんな授業を1番したほうが良いと思いますか？【小学生】

車いす体験 43.9%、障がい者の方からのお話 34.3%

街のバリアフリー調べ（トイレマップ制作） 18.7%、その他 3.0%

問8、足の不自由な方（障がい者の方）が外出時に困らないような社会を実現するために私たちは足の不自由な方（障がい者の方）について学校（小・中・高）で理解を深める機会のための授業を確保すべきだと思いますか？【大学生】

「はい」が 92.0% 「いいえ」が 8.0%

【調査対象】首都圏に通う大学生1年～4年生 男女

【調査時期】10月1日～26日

【調査方法】インターネットアンケート

【回答者数】289人

【調査対象】首都圏に通う小学生1年～6年生 男女

【調査時期】10月1日～26日

【調査方法】アンケート調査票

【回答者数】230人

◆NPO 法人 Check、学生団体『Check Students』の見解◆

首都圏の大学生・小学生共に、障害者週間の認知度は圧倒的に低く、障害のある方との接する機会も少ないことが分かりました。また、今までに足の不自由な方（障がいを持っている方）と交流する機会がありましたか？ある方はどんな機会でしたか？という質問に対し、大学生は、**34.9%**が「学校での交流」で一番多く、「街中で手伝いしたことがある」という人は、**4.8%**と一番少ない。これに対し、小学生は「街中でのお手伝い」が、**24.8%**と一番多い。よって、「街中でのお手伝い」は今の小学生は少しずつ、福祉に関して意識が上がっているのかと考えます。

毎年、地方自治体や関連団体が、ポスター制作や交流事業などの啓発活動を行っていますが、一般の人は「どのように接していいか、分からない」「自分とは関係ない」などイマイチ浸透していないのが現実です。

しかし、一度でも企業内や地域の障害のある方とのボランティア活動や社会貢献活動に参加した人の声を聞くと、「意識や考え方が変わった」「自分もいつどうなるか分からない」

「家族にも教えよう」などの考え方の幅や社会性が広がります。

これからは、「より身近な場所：企業内や小中高・大学」で、参加しやすい活動を積極的に取り入れていただくことが、重要ではないかと考えます。

◆私ども NPO 法人 Check、学生団体『Check Students』は、高齢者・障がい者・子育てのパパママが気兼ねなく外出できる社会を実現するため、「多機能トイレ」の情報共有サイト「Check A Toilet」に設備情報を登録する福祉授業や啓発活動を行っております。

○総合学習授業 地域福祉体験 <http://www.check.or.jp/partner/report.html#after1-3>

障がい者・高齢者・子育てのパパママが抱える外出先でのトイレ問題を、地域のトイレチェック活動や「Check A Toilet」サービスを活用して解決していき、地域福祉・他者理解・PC 操作などといった学びにつなげる総合学習授業です。

○スマホを使ったボランティア活動 <http://www.check.or.jp/partner/report.html#event18>

アフター 5 に会社近辺や繁華街などの多機能トイレ情報を、スマートフォンを使って、情報登録：地域のトイレマップを制作する活動です。

○「Check A Toilet」 <http://www.checkatoilet.com/>

日本全国の多機能トイレの情報を共有するサービス。PC・携帯サイト、各種スマートフォンアプリから展開し、Google、NAVITIME、Mapion などへの情報提供を行っております。

◇『Check Students』

首都圏の大学（青山学院大学、関東学院大学、東洋大学など）を中心とした学生ボランティア約 30 名の組織。スマートフォン、携帯電話などを使って社会に貢献しています。

取材のお申込は下記まで、

電話番号：080-4162-4550 メール：report@checkatoilet.com 担当：金子

特定非営利活動法人 Check (<http://www.check.or.jp/>)

代表理事：金子健二

事業体：特定非営利活動法人（NPO 法人）

団体設立：2006 年 9 月 1 日（法人設立：2008 年 1 月 7 日）

事業内容：(1)トイレマップ制作を通じての市民活動支援事業

(2)バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する情報収集及び情報提供事業

(3)社会貢献活動に関する普及啓発事業

※記載されている社名・サービス名等は各社の商標および登録商標です。